

イエスはそこを去って郷里に行かれた。・・・イエスは彼らの不信仰に驚かれた。

さて、イエスの名が知れ渡ったので、ヘロデ王の耳にも入った。

イエスは舟から上がって、大勢の群衆をご覧になった。

しかし、イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは、幽霊だと思い、叫び声をあげた。

マルコの福音書 6章 1・14・34・49 節より

主イエスの周りにはいつも多くの人たちが集まっていました。本日は6章から、どのような人たちが主イエスの周りに居たのか、その人たちの主イエスに対する姿勢を取り上げ、自らの立場を省みたいと思います。

まずは「郷里の人々」です。彼らは、主イエスの出生から、少年時代・大工として過ごされていたことを知っている人たちです。

それゆえ公生涯を始められてからの多くの奇跡、評判を聞いていながら「この人・マリヤの子」としか見ていません。「ヘロデ王」は、ふたごごろをもつ人間の典型として登場します。バプテスマのヨハネに対しても主イエスに対しても、正しい人だと思ひ、話を聞きたとは思わなくても、自分の生き方を

立場を取る人です。「群衆」には、いろいろなタイプの人たちがいました。興味本位の人・実際の援助だけを求めている人・・・いわゆる一般大衆。主の目には、いずれも「羊飼いのいない羊」のようなあわれみの対象でした。そして「弟子たち」。彼らは、主が望んで選ばれ、そばで訓練を受けた人たちでした。何度も失敗を繰り返して、十字架刑の前にはとんでもない失敗をしてしまう者たちでした。私たちは今、どの立場に近いでしょうか。主イエスは、私たちがどの立場に立っているかと、それを承知の上で、既に代価を払い、寄り添ってくださるお方です。安らいで日々を過ごしましょう。

【報告 消息】

・石田牧師夫妻は、4月より石岡教会の主任牧師・協力牧師となるため住まいも移られます（石田牧師は蒲田教会協力牧師も兼務します）。

蒲田教会での毎週の礼拝出席は次週28日が一区切りとなります。第二礼拝後に感謝の時を持ちます。

次週の礼拝映像配信は11時から第二礼拝となります。

・本日のお花は、石田猛兄の召天（2011年3月27日）を記念して石田家よりささげられました。

・3 / 14 礼拝出席者数報告

第1礼拝 21名

第2礼拝 28名

小学科礼拝 小6名 中高2名

■卒業おめでとう

高校卒業 戸梶隆聡兄

高野 葵姉

中学卒業 佐渡谷駿太兄

小学卒業 荻野真輝兄

新しい環境に進む若者たちのためにお祈りください。

■ホザナ春のデイキャンプ（オンライン）

日 時 3月27日（土） 14時～16時

ゲスト 横山大輔・和子夫妻

2019年夏キャンプの講師横山夫妻

を迎えるの集会です。教会ホームページから視聴できる予定です。

詳細は荻野牧師、林修養生まで